

Baselight 5.0

A new level in colour & creativity

FilmLight



作品の価値と品質を高めるための まったく新しいカラーとイメージのコントロール

培われたスキルとFilmLight製品を駆使して、一流の顧客のために最高品質の映像を生み出し、いつも予定に遅れることなく送り届けるトップ・カラリストのために。

Baselight 5.0は、業界で最も要求の厳しいクライアントと日々共に活躍するプロフェッショナル・カラリストに新しいレベルの創造性を提供します。

Baselight 5.0によって、よりクリエイティブに、より効率的に、そしてより確信を持って、今日のますます複雑化し、変化を続けるカラー・マネジメント・ワークフローの中で、高まる要求に取り組むことができます。

この最新リリースで著しく変わった技術によって、まったく新しいツール・セットが登場し、Baselightシステムで、これまで以上に多くのことができるようになりました。同時に時間も節約できます。

グレーディング・ツールの大転換

カラーグレーディングは、撮影とディスプレイの技術変革に合わせて進化しなければなりません。Baselight 5.0では、FilmLightのカラーに関する専門知識をさらに押し進めて、まったく新しいグレーディング・ツールを開発し、自然な感覚で直感的に操作できるようにしました。カラリストとともに、そしてカラリストのために。

まさに自然です – Base Gradeの登場

これまでに開発してきたなかで、最も洗練され、しかも最もシンプルなグレーディング・ツールです。Base Gradeは、その機能も、そしてカラーグレーディングの概念としても新しいものです。人が実際に色を認識する方法を基礎にした、独自の画期的なツール群によって、美しい映像を作りだすことを可能にします。これまでの電子的に色を調整するという方法から発生したLift/Gamma/Gainのアプローチとは全く異なります。

このために、Base Gradeは新しく、Base、Exposure、Tintの組み合わせによって色を調整します。



これがなぜ違いを生み出すのでしょうか？ それは従来のカラーグレーディングとは違い、写真の現像に近いからです。このグレーディング・ツールによって、自然な画質と普遍的で一貫性のある自然な変化が得られます。しかも、どのカラースペースでグレーディングしても、まったく同じ感覚でコントロールできます。

Base Gradeは色温度の変化に対してもバランスを簡単に取れます。

さらに創造性豊かに – もっとBaselightで

Baselight 5.0の新しいクリエイティブな機能によってさらに多くのことができ、完全なイメージに近づくことができます。新しいリアルタイム効果とトランスフォームは、クライアントが同席するセッションの中でイメージを構築し、微調整することを可能にします。作業が滞ることもなく、別部門からの戻りを待つ必要がなくなります。

新しいPerspective Transformオペレーターは、パースペクティブを追加して、コーナービニングやスクリーンの差し替えなどを可能にします。また、パースペクティブは4ポイント・トラッカーや新しくアップグレードされたパースペクティブ対応のエリア・トラッカーによって追尾できます。

新しいベクターPaint機能でカラー、クローン、マットの3種類のブラシと追従可能なペイント・レイヤーが追加されます。単純なロゴの除去や、ビューティ・ショットのためのより正確な肌のリタッチや修正に最適です。

Grid Warpは、静止画に生命を吹き込みます。入力または結果のメッシュを使って、レンズ・ディストーションを模倣、またはサイズを変えることで、特性を強調したり、弱めたりすることができます。あるいは複数の入力または出力メッシュを使ってモーフィング効果を作ります。全体のメッシュはBaselightトラッカーに関連付けられますので、ショットに合わせて動きをつけることもできます。

さらに、Baselight 5.0には新しいブルー/グリーン・スクリーン・キーヤーが搭載されます。専用の差分キーヤーでBaselightで高品質のクロマキー合成が可能になります。Spill SuppressionコントロールがBaselightのレイヤーに統合化され、クリーンなキーを作るために、合成キーから完全に独立してカラースピルを制御することができます。

これはBaselightにとって有用な機能でしょうか？ Baselightのグレーディング・ツール群によって、素早く簡単に高い精度で背景と前景のルックを合わせることができます。パワフルなレイヤー・ブレンディング機能と組み合わせると、この新しいキーヤーから素晴らしい合成結果を得られます。

Text機能の拡張によって、任意のフォントを選択でき、ボーダーやドロップ・シャドウを適切に描画することができます。改善されたレンダリング機能がよりよい結果を生み出します。

たとえばNUKEのファイル名に書き込まれたバージョンやAutodeskのOpen Clip XMLフォーマットから、複数のバージョンを参照するSequenceオペレーターが追加され、シーケンスの自動バージョンアップを制御できるようになります。新しいバージョンが届くと自動的にそれを認識します。

Baselight 5.0では、EXRのチャンネルに組み込まれた、World-Space-Position (WSP) やNormal Map情報を持った画像の情報を利用することができます。これによって非常に有用なことができるようになります。たとえば –

- ▶ Matte XYZツールによって静止オブジェクトを分離し、個別にグレーディングできます。たとえ、カメラの動きがあっても。
- ▶ Relightツールによって仮想光源をキャストすることで、ライティングをわずかに変更することができます。これはマットとしても動作し、Baselightのパワフルなグレーディング・ツール群と合わせて、光源の品質や色相を調整することができます。

Baselight 5.0はAutodesk FlameのMatchbox Shaderフォーマットのプラグインに対応し、BaselightのGPUパフォーマンスの利点をフルに活用して、これらの特殊効果をBaselightの中で利用できます。

SapphireのようなOFXプラグインでGPUを利用し、高速処理が可能になります。



BaselightのGrid Warp

さらに多くのフィルターと機能

Baselight 5.0にはさらに多くの追加機能があり、映像をさらにグレードアップすることができます。以下はその一部です。

デジタル・カメラの素材で露出が間違っていたら、どうなるでしょう？ サード・パーティのノイズ除去機能はもう不要です。Baselightの新しいDenoiseフィルターは、多くのピクセルやフレームに広がるランダムなイメージノイズを除去しながら、エッジを保護します。このフィルターをBaselightの中で適用することで、素材のデータのすべてにアクセスできますので、マットを使うことでノイズ部分を分離し、スタックの下の方の情報を再利用することができます。

Baselight 5.0には、新しいDeflickerフィルターが搭載されます。これは、フレーム間のフリッカーを抽出し、最も複雑で不規則なフリッカーであっても簡単に取り除けます。さらに、Signal機能によって、フリッカー・フリーの映像を得るためにさらに調整が必要かどうかを正確に判断することができます。

Mid Contrastは先進的な機能を追加します。中間レンジをシャープに見せることが可能で、従来のシャープニング機能にありがちだったリングングなどの好ましくないアーティファクトを生み出すこともありません。



Midtone Contrast (左)、オリジナル (中央)、Film Gradeのコントラスト (右)

HDRに最適化

カラーマネージメント – 賢く、直感的で確実

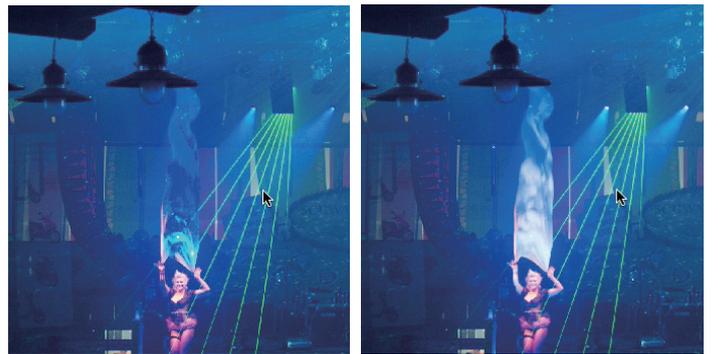
Base Gradelは、現代のグレーディング・ワークフローをより直感的で効率的にするためだけの新しい一歩ではありません。Baselightはすでに無類のカラースペース・マネージメント機能を持っていますが、カラースペースは時にややこしいものです。それゆえ、新しくカラースペース「ファミリー」という概念を導入しました。

プロジェクトのグレーディングが終わり、納品完成版を作成する準備ができたとき。Baselight 5.0では、ここで異なるビューイング「ファミリー」を選択できます。たとえば、劇場用かTV放映用か。Baselightは、最適なカラーペースとレンダリング・トランスフォームを選択します。その結果、納品完成版は最終の視聴条件、たとえば4Kの劇場上映、に最適化されたものになります。

複数の視聴フォーマットを納品する場合には、複雑さが増し、仕上げ工程にも時間がかかります。このパワフルな機能によって不確実性を取り除き、正しい視聴フォーマットの納品完成版が自動的に生成されます。

色域外の問題はなくなります

最近のHDR対応のカメラは著しくパワフルになっています。しかし、それゆえに、劇場のスクリーンやテレビ画面には映し出せないような色までキャプチャーしてしまう能力があります。新しいGamut Compression機能は、この色域外の色を自動的に調整することができるので、この問題を心配する必要はもうありません。ガマットの外側のカラーボリュームを圧縮し、その結果が内側のカラーボリュームに影響しないので、明るくサチュレーションの高い色情報もクリップされず、映像を台無しにすることもありません。



Gamut CompressionのBefore/After

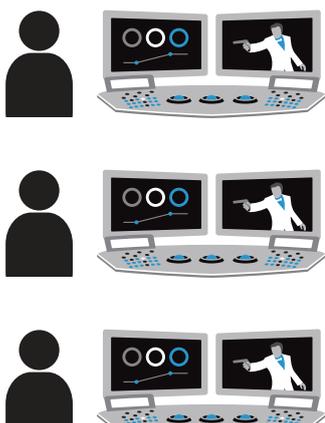
リモート・グレーディング – 主導する側、協力する側、そして両方

自社内だけでなく、隣の町やあるいは地球の反対側の町との間で、複数の施設やフリーランサーと協力することは、どのユーザーにとってもますます重要になってきています。Baselight 5.0は、まったく新しいアプローチによってリモート・グレーディングを可能にします。マスター（ローカル）側のBaselightでグレーディングしている間、リモート側のBaselightシステムで同じシーンを見ることができるのです。

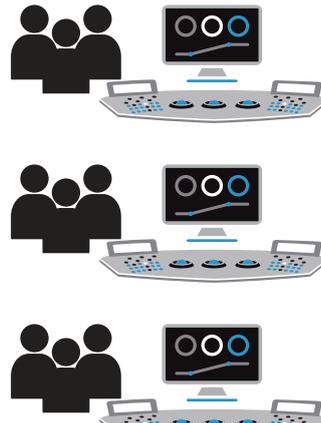
リモート側のクライアントや同僚は、自分でシーンを動かして見ることもできますし、ローカル側のグレードの追加やクリエイティブな操作にロックして追従することもできます。

もちろん、ローカル側で加えた変更は即座にリモート側にも反映されます。また、リモート側にコントロールを渡してコメントを追加したり、シーンにマークをいれてもらうこともできます。相手側にボタンを渡すのは簡単な操作で、同じようにボタンを返してもらうことも簡単にできます。

マスター（ローカル）側



リモート側



マスター側で再生とシーンの変更をコントロール

コントロールをマスター側からリモート側に引き渡し。リモート側でタイムラインにコメントとマークを入力

リモート側では完全に独立してシーンのブラウズが可能

生産性が最も重要

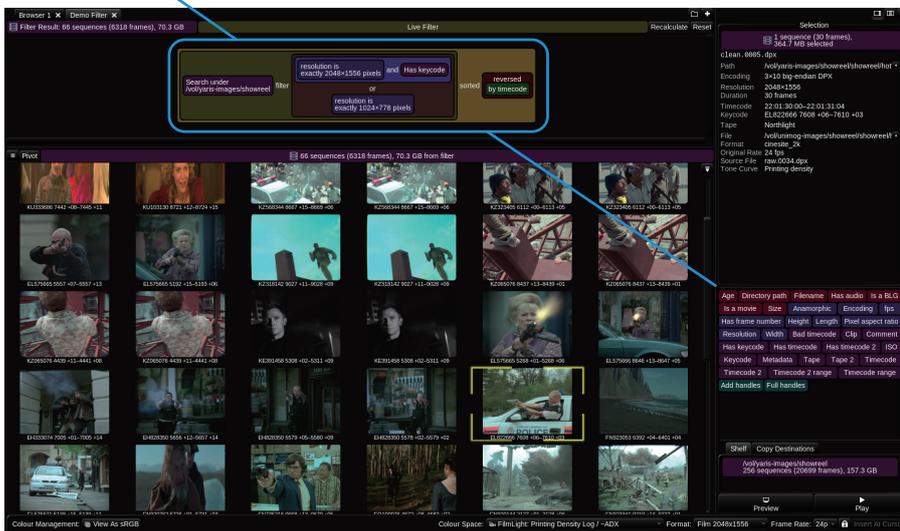
全てのBaselightのリリースで、FilmLightは常に生産性を高めようと努力しています。これまでに述べてきた機能群だけでなく、Baselight 5.0には、ワークフローを加速し、より使いやすくする多くの改善が含まれています。

革命的なFLUX ManageがBaselight 5.0の一部に

これまでにない効率性とデータ管理によって、時間と貴重なストレージ・スペースを節約します。

Baselight 5.0では新しくFLUX Manageが搭載され、これまでのSequence Browserと単体のFLUXアプリケーションに置き換わります。素材のブラウズ、シーンへのマルチインサート、コピー、削除などの機能で独自の高速処理が可能になります。

複雑な検索条件もフィルターをドラッグ&ドロップするだけで簡単に作成



FLUX Manage

仕様

Baselight 5.0を利用するための必要条件 –

- » FLOS 6.4以降
- » Generation IV、V、VIハードウェア

注) Baselight 5.0よりBaselight CONFORMはIO Kompressor機能をサポートしません。

FLUX Manageはメディア管理の問題を独自の方法で解決します。シーケンスのセットをその属性にしたがって素早く検索します。FilmLightのストレージを使えば、インデックスを利用して常にファイルシステムと同期することが可能になります。

つまり、ポストプロダクション用メディアのタイムコードやISO設定、その他のメタデータを検索して、メディアを開くために時間を要することがなくなります。その結果、たとえばコンフォームなどのために、何十、何百テラバイトといった大規模なBaselightやFLUX Storeのファイルシステムから、メタデータが一致するメディアを即時検索します。ファイルシステムの階層を渡る検索のオーバーヘッドがなくなります。

多機能の検索操作やカスタム・スクリプト機能によって、メディアを検索・ソートするのも瞬時に効率的で、必要なメディアと不必要なメディアの切り分けが簡単になります。

FLUX Manageのさらに多くの機能については、FLUX Manageのデータシートをご参照ください。

さらなる追加機能

より使いやすく、効率的な作業を実現する高効率機能として、Baselight 5.0には次のようなものがあります。

- » 高速ショット・ビュー機能。サムネイル、カスタム・カラム、先進のフィルタリング機能を搭載
- » グレーディングのドラッグ&ドロップを利用できるレイヤー・ビューの改善
- » クライアント用にレポートを生成。Shots Viewのメタデータを魅力的な形式で出力。Daylightにすでに搭載されている機能です。

Head Office & EMEA

London, UK
t: +44.20.7292.0400

Japan

Tokyo
t: +81.3.6801.6280

Australia

Sydney
t: +61.2.8746.0602

China

Beijing
t: +86.139.1073.7940

Germany

Berlin
t: +49.151.2345.5668

India

Mumbai
t: +91.9819.426.677

Mexico

Mexico City
t: +52(1)55.5165.2132

Singapore

Singapore
t: +65.9670.3283

Thailand

Bangkok
t: +66.891.259.009

USA

Los Angeles
t: +1.323.785.1630

www.filmlight.ltd.uk

